

## 【別添1-1】

# これまでのIPACG会議の成果

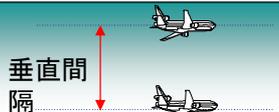
## 洋上空域における管制間隔の短縮

1. ADS/CPDLCによる縦間隔の短縮
2. RNP10/4による横間隔の短縮
3. RVSMによる垂直間隔の短縮

空域容量の拡大が図られ、日本出発機の遅延縮小や燃料消費上最適な高度での飛行の機会が増加した。これにより、燃料消費削減及びCO2排出削減に効果がある。

| 縦間隔   | 平成17年4月以前          | 平成17年4月～     | 平成20年8月～     |
|---|--------------------|--------------|--------------|
|  | 150～120海里<br>(15分) | 50海里 (約92km) | 30海里 (約55km) |

| 横間隔   | 平成10年4月以前 | 平成10年4月～ | 平成20年8月～ |
|---|-----------|----------|----------|
|  | 100海里     | 50海里     | 30海里     |

| 29,000フィート以上の高度における垂直間隔   | 平成12年2月以前            | 平成12年2月～             |
|---|----------------------|----------------------|
|  | 2,000フィート<br>(約600m) | 1,000フィート<br>(約300m) |

- ・**ADS** (Automatic Dependent Surveillance: 自動位置情報伝送・監視機能)  
航空機の航法システムから得られる航空機の位置情報を空-地データリンクで自動的に管制システムに伝送し、それを「レーダーのごとく」表示装置に表示して、航空機を監視する機能。
- ・**CPDLC** (Controller Pilot Data Link Communication)  
データリンクを用いて行う管理管制官又は管制官とパイロット間の管制通信をいう。
- ・**RNP** (Required Navigational Performance: 航法性能要件)  
特定空域内における航行に必要な航法性能をいう。
- ・**RVSM** (Reduced Vertical Separation Minimum: 短縮垂直間隔)  
29,000フィート以上の高度において、従来の垂直間隔2,000フィートを1,000フィートに短縮する方式であり、RVSM航行の許可を受けている航空機に適用される。

【別添1-2】

# PACOTS及びUPRの導入

